

学 会 彙 報

(二〇〇二年十一月)

二〇〇三年五月

◇公開講演会

十二月二日(月)午後四時十分より

於 メディア・ホール

「中世南都における戒律の復興」

愛知学院大学助教授

蓑輪顕量氏

講演終了後に、鞍馬口瓢亭において蓑輪先生を囲んで懇親会をもった。

◇研究発表例会

十二月十二日(木)午後四時十分より

於 尋源講堂

「過去七仏の菩提樹について——
Siddhi 仏の菩提樹を中心に」

大学院博士後期課程第三学年

清水洋平氏

「敦煌本『本業璣経疏』の引用経論について」

大学院博士後期課程第三学年

藤谷昌紀氏

「カマラシーラ著『修習次第』の読解

から」

教授 一郷正道氏

◇卒業論文梗概発表会

一月十六日(木)午後四時十分より

於 尋源講堂

発表終了後に全員で記念写真を撮り、その後ビッグ・ヴァレー(学生談話室)で送別懇談会をもった。

◇新入会員歓迎記念講演会

五月十六日(金)十時四十分より

於 メディア・ホール

「世間虚仮・唯仏是真について」

仏教学会長 木村宣彰教授

編 集 後 記

『佛教学セミナー』第77号をお届けします。発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。

本号には論文五篇、書評・紹介一篇を掲載することができました。本学仏教学会主催の講演会にご出講下さった蓑輪顕量先生の玉稿をはじめ、本号には、中国、日本仏教に関する多くの論文を掲載することになりました。これも本学仏教学科

がカバーする学問領域の広さを示すものといえましょう。近年、史学、文学その他多くの領域からの中国、日本仏教に関する研究成果にめざましいものがあるように思います。これに呼応し、仏教学からの成果も一層期待されるところであります。それも確かな教理史上の理解をふまえた上で、それをこえたアプローチによる成果が俟たれるところでしょう。

本号は学界から天折が惜しまれている上村先生の遺作となつた業績を紹介することになりました。

箕浦論文は、本学仏教学科の誇るアビダルマ研究を担う若手研究者の成果の一つである。